

＜財政状況＞

①決算収支

(千円・%)

区分	平成25年度決算	平成26年度決算	増減率
歳入	27,654,463	25,898,040	△ 6.4
歳出	25,895,804	24,396,212	△ 5.8
形式収支	1,758,659	1,501,828	-
実質収支	911,755	913,635	-
単年度収支	106,231	1,880	-
実質単年度収支	482,316	288,410	-

②主な歳入・歳出(平成26年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	25,898	-	△ 1,756	△ 6.3
地方税	11,672	45.1	4	0.0
地方交付税	1,558	6.0	4	0.3
国庫支出金	3,694	14.3	△ 348	△ 8.6
地方債	1,658	6.4	38	2.3
うち臨財債費	1,302	5.0	-	-
その他	7,316	28.2	-	-
うち繰入金	587	2.3	-	-
歳出	24,396	-	△ 1,500	△ 5.8
義務的経費	11,281	46.2	235	2.1
人件費	4,095	16.8	△ 26	△ 0.6
扶助費	5,277	21.6	529	11.1
公債費	1,909	7.8	△ 268	△ 12.3
投資的経費	3,182	13.0	-	-
普通建設事業費	3,181	13.0	△ 1,214	△ 27.6
うち補助	1,872	7.7	△ 1,338	△ 41.7
うち単独	1,308	5.4	123	10.4
その他の経費	9,933	40.8	-	-
うち繰出金	2,261	9.3	-	-

③主要指標(平成26年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.80)
連結実質赤字比率	- % (17.80)
実質公債費比率	3.5 % (25.0) [8.0]
将来負担比率	- % (350.0) [37.5]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成27年度)	0.882	[0.699]
経常収支比率	92.4 %	[88.9]
標準財政規模(平成27年度)	14,925	百万円 [15,290]
地方債現在高(A)	22,033	百万円 [23,790]
債務負担行為支出予定額(B)	4,014	百万円 [2,834]
積立金現在高(C)	4,525	百万円 [7,849]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	21,522	百万円 [18,775]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成26年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	5,492,078 (42.9)	5,009,947 (42.9)	91.2 [92.6]
市町村民税・法人 (構成比)	630,452 (4.9)	611,042 (5.2)	96.9 [98.5]
固定資産税 (構成比)	5,087,381 (39.7)	4,609,594 (39.5)	90.6 [92.5]
市町村税合計 (国保除く)	12,805,667	11,672,413	91.2 [93.4]

＜公共施設整備状況＞(平成26年度) ※1は平成27年度

小学校 ※1	8 校	プール	2 か所
中学校 ※1	6 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	7 園	老人福祉施設	38 か所
保育所 ※1	16 か所	病院・一般診療所	57 か所
認定こども園 ※1	1 園	道路改良率	58.1 %
図書館	1 か所	道路舗装率	68.5 %
公営住宅	311 戸	上水道等普及率	89.6 %
公民館等	7 か所	污水処理普及率	92.3 %
体育館	1 か所		

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
CO2排出抑制対策補助金を活用しバイオマス産業都市を構築す	H26 ～ H28	ハイオクターセル燃料やペレットの製造、公共施設へのペレット・薪ストーブ設置、空調熱源改修など実施し、低炭素地域づくりとエネルギーの地産地消を推進する。	1,451
清掃工場の延命化	H27 ～	老朽化した清掃工場延命化・長寿命化のため、基幹的設備の改良を行う。	2,203
牛久駅東口再整備事業	H24 ～ H28	安全で全ての人に利用しやすい駅東口の再整備を進め、賑わい溢れる周遊空間を整備する。	715
牛久第一中学校体育館を改築する。	H28 ～ H29	老朽化した牛久第一中学校体育館の改築を行う。	753
下根中学校仮設校舎を建設する。	H28	生徒数増加が見込まれるひたち野のり地区への新中学校建設にあたり、完成までの期間における下根中学校の生徒増加に対応するため、仮設校舎を建設する。	215

②今後の主要課題・特色ある行政等

＜主要課題＞

- ・少子超高齢化社会の進展に伴う税収減・扶助費の増に対応した財政運営
 - ・空き家/バンク等により世代循環が可能な地域づくり
 - ・雨水対策事業の推進
 - ・清掃工場設備の改修
 - ・牛久駅周辺地区の活性化
 - ・市道23号線(城中・田宮線)の整備
 - ・国民体育大会の開催準備
- ＜特色ある行政＞
- ・医療福祉費支給制度の対象者を高校生まで拡充
 - ・子育て世代包括支援センターの運営
 - ・小学校区空き教室を利用した保育園の運営
 - ・放課後・土曜カッパ塾の運営
 - ・非常勤一般職の月額報酬制の導入
 - ・バイオマスタウン構想による地域循環型社会の構築
 - ・牛久市役所消防隊を機能別団員として結成